

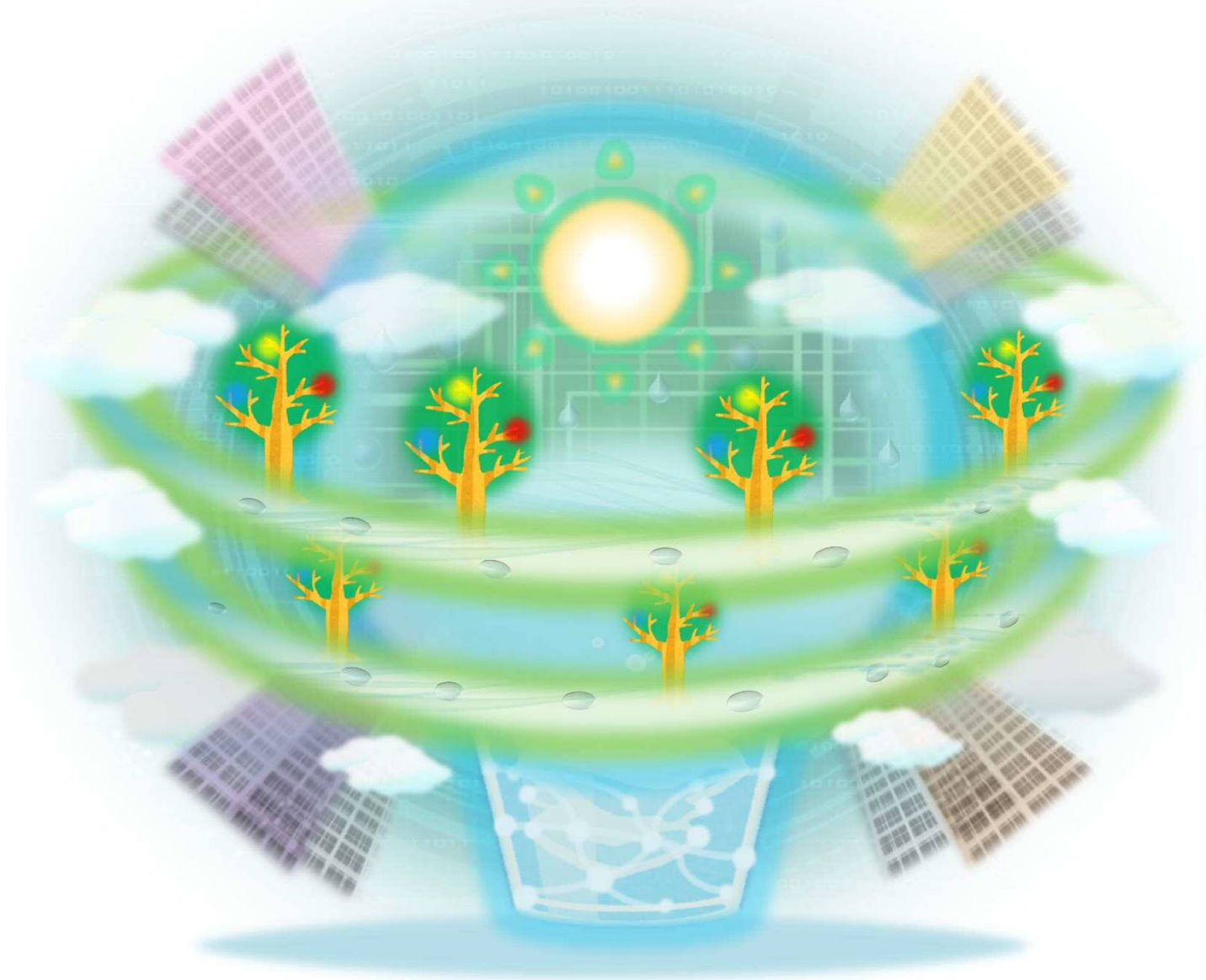
EA21



エコアクション21[®]
認証番号0001634

2017年環境活動レポート

2017年7月～2018年6月



株式会社 九州構造設計

2018年 8月 1日 作成

- 1 **会社概要**
会社概要／認証登録の対象組織・活動／受賞履歴
- 2 **環境方針**
基本理念／行動指針
- 2 **経営理念**
- 3 **実施体制**
- 4 **過去3年間の環境負荷の実績**
- 5 **環境活動の取り組み結果と評価および次年度の取り組み**
平成29年度実績
- 6 **環境活動の取り組み結果と評価および次年度の取り組み**
二酸化炭素排出量／電気使用量／ガソリン及び軽油使用量
一般廃棄物排出量／紙の使用量／使用水量
環境に配慮した業務推進／グリーン購入
地域との環境コミュニケーション／従業員の環境コミュニケーション力
- 22 **社内での取り組み①**
内部コミュニケーション／エコアクション21セミナーでの発表
エコアクション21事務局の交代制
- 23 **社内での取り組み②**
3S活動の実践／本棚の一元化／環境上の緊急事態の訓練取組結果
- 24 **環境関連法規への違反・訴訟等の有無**
当社に適用される環境関連法規
佐賀市の『小規模事業所ステーション排出登録制度』の活用
- 24 **代表者による見直しと評価**



会社概要

会社名	株式会社 九州構造設計	
代表	野中 達也	
設立	昭和62年1月	
資本金	1,000万円	
所在地	本社	〒840-0017 佐賀県佐賀市新郷本町24番13号 TEL:0952-29-0898 FAX:0952-29-2503 HP: http://www.kyukoh.co.jp/
	支店	武雄支店・唐津支店・鳥栖支店
環境管理責任者 及び担当者	責任者	調査課 課長 高森浩徳
	担当者	営業部 課長 牟田口 剛
	連絡先	TEL:0952-29-0898 FAX:0952-29-2503
事業内容	設計部門	道路・河川砂防・造成及び都市計画・橋梁・各種構造物 公園景観設計・上下水道設計・農業及び森林土木設計
	測量部門	基準点測量・地形測量・水準測量・路線測量・河川測量・用地測量
	補償部門	物件・機械設備・営業・特殊補償・事業損失・補償関連
	調査部門	地質・水質・環境・生態・コンクリート診断調査
	環境部門	環境機器販売
事業登録	建設コンサルタント登録	第 5988 号
	測量業登録	第 17355 号
	補償コンサルタント登録	第 3756 号
	地質調査業者登録	第 2494 号
社員数	29名 (男23名・女6名)	
事業年度	平成29年7月～平成30年6月	

認証登録の対象組織・活動

登録組織名	株式会社九州構造設計
関連事業所	武雄支店・唐津支店・鳥栖支店
活動	社会基盤整備に伴う測量・調査・設計・補償業務
認証登録番号	0001634
認証登録日	2007年6月15日

受賞履歴

平成21年度 エコアクション21環境活動レポート大賞・九州 「環境パフォーマンス大賞・九州」受賞
平成22年度 エコアクション21環境活動レポート大賞・九州 「環境レポート大賞」受賞
第15回 環境コミュニケーション大賞 環境活動レポート部門 「優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)」受賞

環境方針

基本理念

美しく持続可能な地球環境を次世代へ引き継ぐ為、社会基盤整備の計画者として、積極的に環境に優しい社会の実現に貢献します。

行動指針

1. 株式会社九州構造設計は、総エネルギー投入量、総物資投入量、水資源投入量の軽減に努め、温室効果ガス排出量の低下に貢献します。
2. 社会基盤整備の川上の位置付けにある建設コンサルタントの立場で、環境負荷の少ない社会の実現に寄与出来るよう、環境に配慮した設計の積極的な提案、ライフサイクルコストを考慮したインフラの効率的な維持管理計画の策定を行っていきます。
3. 環境管理活動の目標及び施策を活動計画の中で明らかにし、全従業員がそれぞれの役割に依りて、創意をもって環境管理活動を推進します。
4. 法規制を遵守し、環境汚染の防止や、環境保全の継続的な改善を図ります。
5. 継続的にグリーン購入を推進することにより環境保全活動に寄与します。
6. 地域の環境保全活動の推進に寄与し、地域との環境コミュニケーションの向上と従業員の環境コミュニケーション力の向上に努めます。
7. 環境レポートは、すべての従業員に周知すると共に、社外に開示します。



平成28年8月1日（改定）

佐賀県佐賀市新郷本町24番13号
株式会社九州構造設計

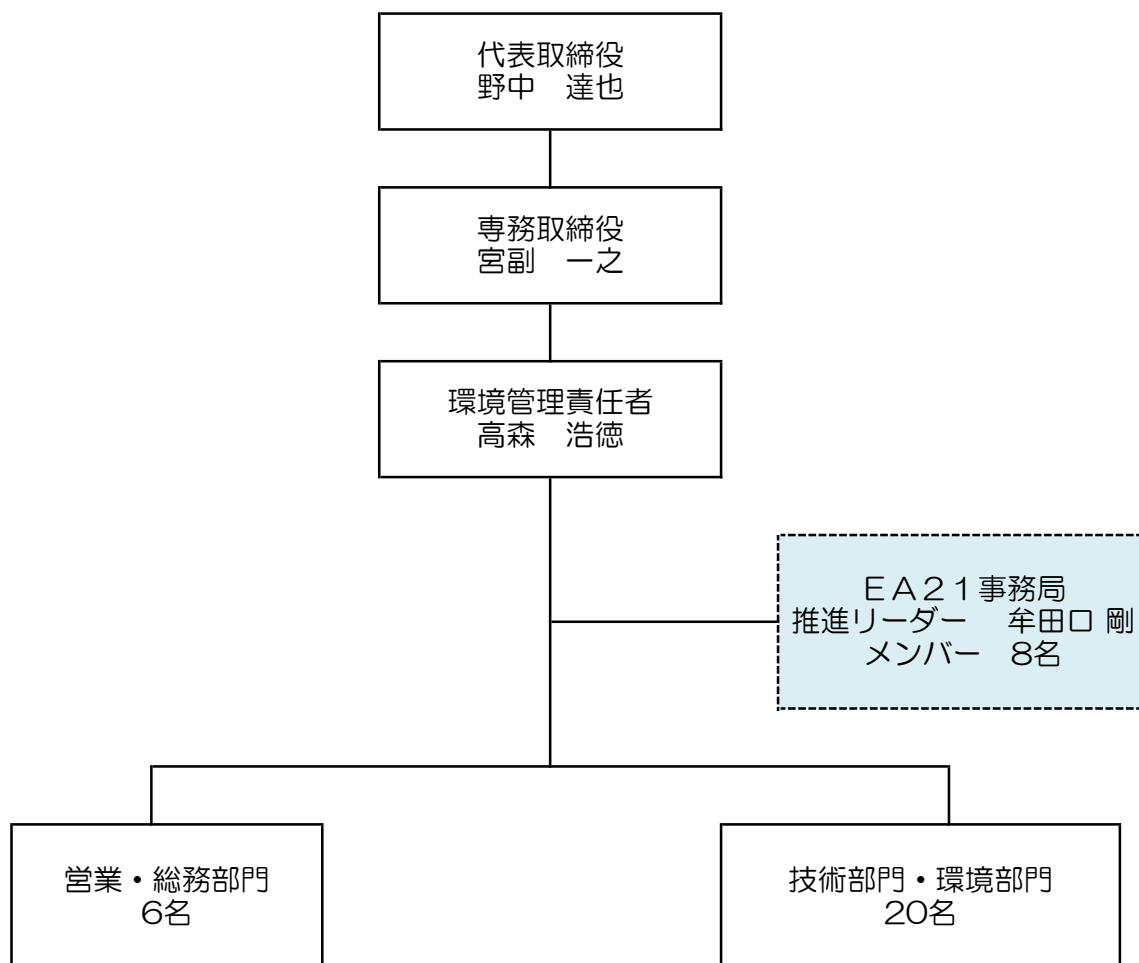
代表取締役社長

野中達也

経営理念

1. 縁有りて同じ籍を置く社員の結束のもと、「真・善・美」の心で、全社挙げて、社会貢献することを目的とする。
2. 社員とその家族の幸福・夢実現の為に、利益追求の舵取りに不断の努力を駆使して継続的繁栄を図り、100年企業を目指す。

実施体制



氏名	所属	役割・責任・権限
野中 達也	代表取締役	全体統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
高森 浩徳	技術部	全体の把握/環境管理責任者、環境経営システムを構築・運用し、その状況を社長に報告する
EA21事務局		EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
牟田口 剛	営業部	推進リーダー（事務局の統括・環境目標・活動計画の進捗管理） 環境に配慮した業務提案
福島 司	技術部	二酸化炭素排出量の管理（ガソリン・軽油使用料・エコドライブ）
大石 美佳	技術部	二酸化炭素排出量の管理（電気使用量）
秀島 清	技術部	廃棄物排出量の管理
白浜 新	技術部	環境に配慮した業務推進
藤田 伸彦	技術部	総排水量の管理
洲上 良美	環境部	グリーン購入の管理
野中 健史	技術部	社屋周辺美化活動の管理
金原真理子	技術部	環境関連研修会参加の管理

過去3年間の環境負荷の実績

項目		単位	H26年度 (28人)	H27年度 (28人)	H28年度 (29人)		
削減目標	二酸化炭素排出量	絶対量	kg-CO ₂	48,636	44,072	38,193	
		従業員1人当たり	kg-CO ₂ /人	1,737	1,574	1,317	
	電気使用量	絶対量	kWh	17,304	17,108	15,457	
		従業員1人当たり	kWh/人	618	611	533	
	ガソリン及び軽油使用量	絶対量	L	17,024	15,288	12,963	
		従業員1人当たり	L/人	608	546	447	
	廃棄物排出量	絶対量	kg	647	553	541	
		従業員1人当たり	kg/人	23.11	19.77	18.67	
	紙の使用量	絶対量	kg	1,144.92	973.56	1,214.81	
		従業員1人当たり	kg/人	40.89	34.77	41.89	
	総排水量	絶対量	m ³	143.08	156.80	162.29	
		従業員1人当たり	m ³ /人	5.11	5.60	5.61	
	プラス目標	環境に配慮した業務推進（技術部門）	提案件数	件	42	27	22
		環境に配慮した業務提案（営業部門）	提案件数	件	3	2	2
グリーン購入の推進		事務用品購入率	%	75.5	72.1	67.3	
オゾン発生製品販売量		訪問件数	件	31	28	-	
		販売件数	件	5	3	-	
		オゾン発生量 (mg/台×台)	mg	932	1,502	-	
LED照明器具の販売量		訪問件数	件	15	12	-	
		販売件数	件	2	2	-	
遮熱塗料ガイナの販売量		訪問件数	件	49	45	-	
		販売件数	件	5	2	-	
地域美化活動（ボランティア活動）	毎月1回	回	12	12	12		
環境関連研修会の参加	社外研修会	回	12	16	14		

環境活動の取り組み結果と評価および次年度の取り組み

平成29年度実績

項目	単位	H29年度（29人）			H30年度（28人）	H31年度（28人）
		目標	実績 （達成率）	評価	目標	目標
二酸化炭素排出量 (H29年度目標値をベースに H31年度までに2.0%削減する)	kg-CO ₂ /人	1,948以下	1,282.2 （※1,※2） 【152%】	○	1,928以下 (1.0%以下)	1,909以下 (2.0%以下)
電気使用量 (H29年度目標値をベースに H31年度までに2.0%削減する)	kWh/人	764以下	591.9 【129%】	○	756以下 (1.0%以下)	748以下 (2.0%以下)
ガソリン及び軽油使用量 (H29年度目標値をベースに H31年度までに2.0%削減する)	L/人	686以下	422.3 【162%】	○	679以下 (1.0%以下)	672以下 (2.0%以下)
廃棄物排出量 (H29年度目標値をベースに H31年度までに1.0%削減する)	kg/人	29.3以下	20.31 【144%】	○	29.1以下 (0.5%以下)	29.0以下 (1.0%以下)
紙の使用量 (H29年度目標値をベースに H31年度までに1.0%削減する)	kg/人	47.2以下	37.42 【126%】	○	46.9以下 (0.5%以下)	46.7以下 (1.0%以下)
総排水量 (H29年度からH31年度まで 同じ目標値とする)	m ³ /人	5,695以下	5,096 【112%】	○	5,695以下 (-)	5,695以下 (-)
環境に配慮した業務推進 （技術部門） (H29年度からH31年度まで 同じ目標値とする)	件	15以上	14 【93%】	×	15	15
グリーン購入の推進 (環境ラベル認定製品の事務用品 購入比率を60%以上とする)	%	60.0以上	67.7 【113%】	○	60.0以上	60.0以上
地域との環境 コミュニケーションの向上	回	12以上	12 【100%】	○	12	12
従業員の環境 コミュニケーション力の向上	回	12以上	13 【108%】	○	12	12

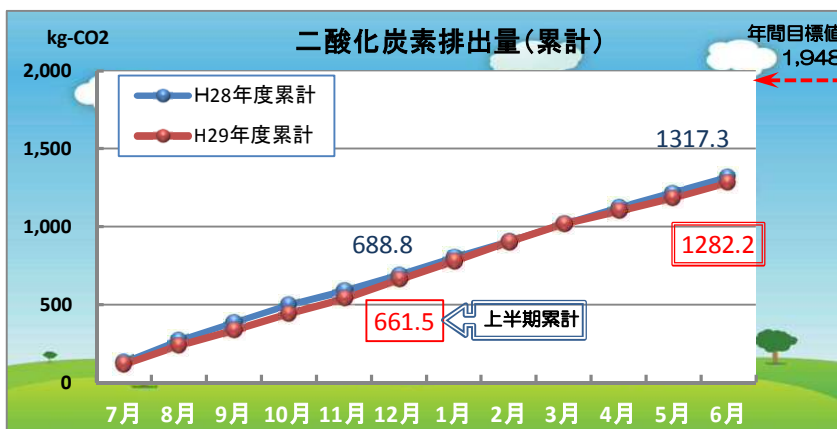
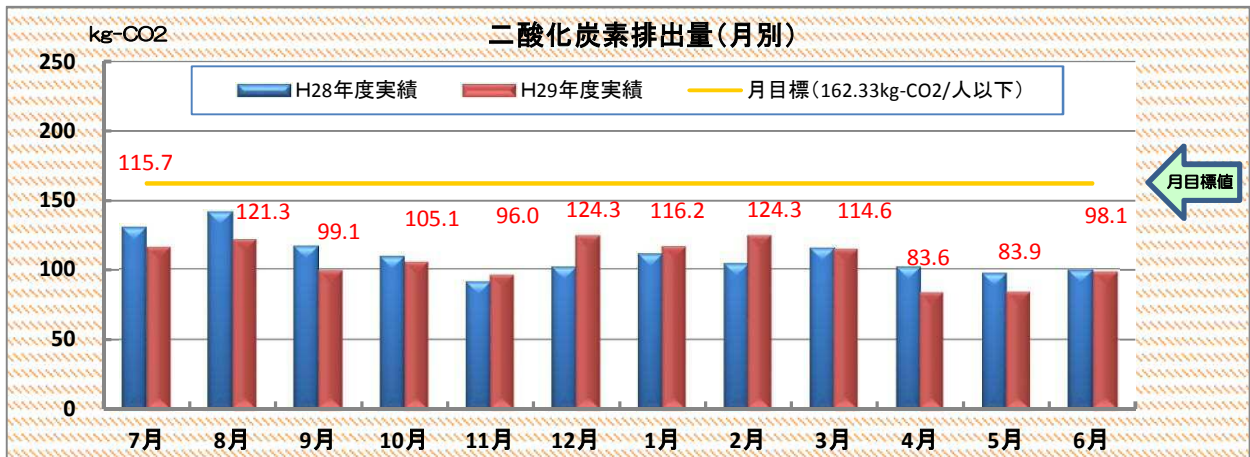
(※1) 電気事業者のCO₂排出係数は、0.509kg-CO₂/kWh（九州電力2015年度実績）を使用しました。

(※2) 二酸化炭素排出量総量：37,183kg-CO₂

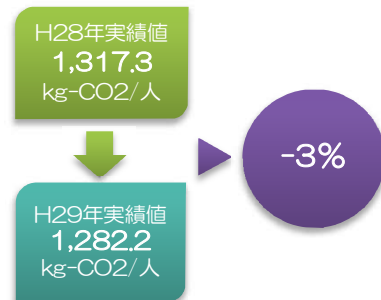
環境活動の取り組み結果と評価および次年度の取り組み

1. 二酸化炭素排出量の削減

削減目標



H28年とH29年の実績値の比較



環境活動項目	結果
①電気使用量の削減	◎
②ガソリン及び軽油使用量の削減	◎

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

平成29年度の取組結果の評価

H29年度は毎月目標達成できました。前年度より減少できて良かったと思います。

平成30年度の取組目標

H30年度も目標達成できるよう努力していきたいと思ひます。

■ 平成30年度目標値 1,928kg-CO₂/人以下

設備投資事項

エコウィン（ハイブリッド型輻射式冷暖房システム）の導入



営業・総務のエアコンをハイブリッド型輻射式冷暖房システムに入れ替え、対流式エアコンで使用している冷媒を熱源媒体として利用しています。

LED照明器の導入



蛍光灯をLED照明に交換し、電気使用量の削減に努めています。

屋根、外壁の遮熱塗装



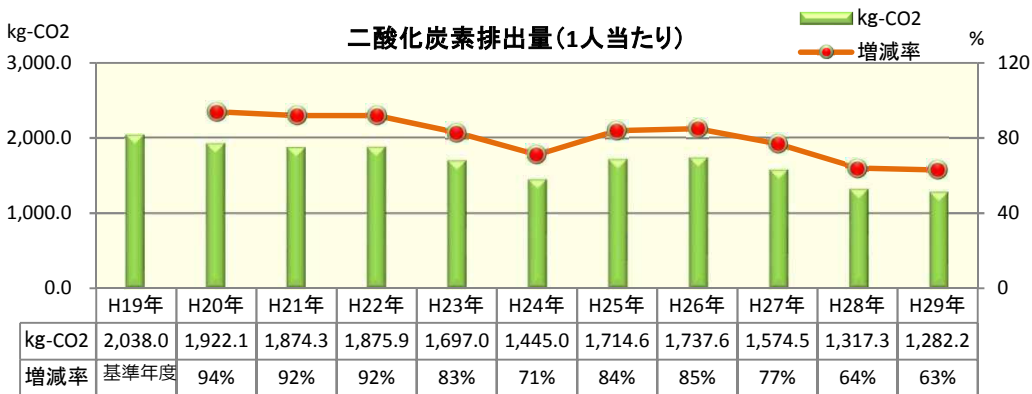
社屋の屋根、外壁に遮熱塗料「ガイナ」の塗装を行いました。夏は冷房の効きがよく、冬は暖かい室内になっています。塗装前と比べ空調使用量が約22.0%削減になりました。

車両の入れ替え



社有車の1台を入れ替えました。

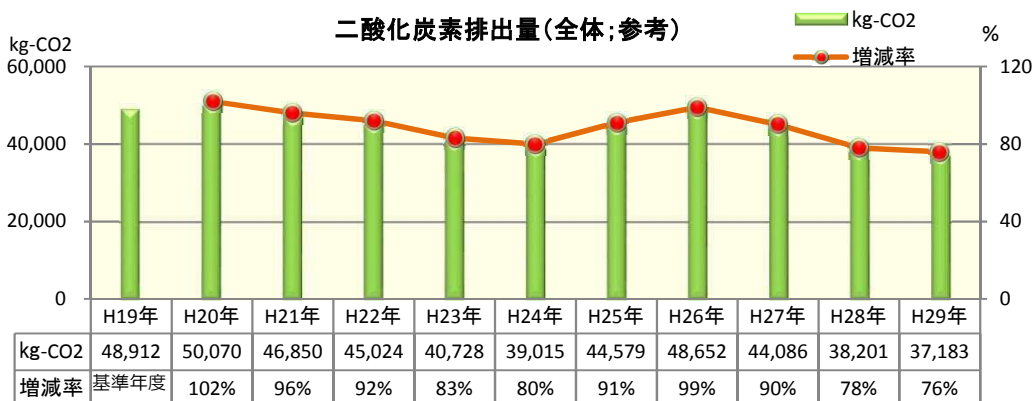
二酸化炭素排出量の推移



H19年実績比

-755kg-CO₂/人

37%削減

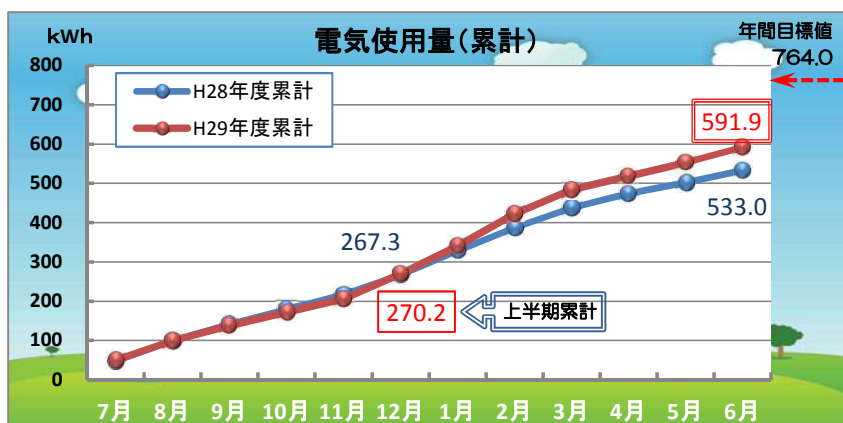
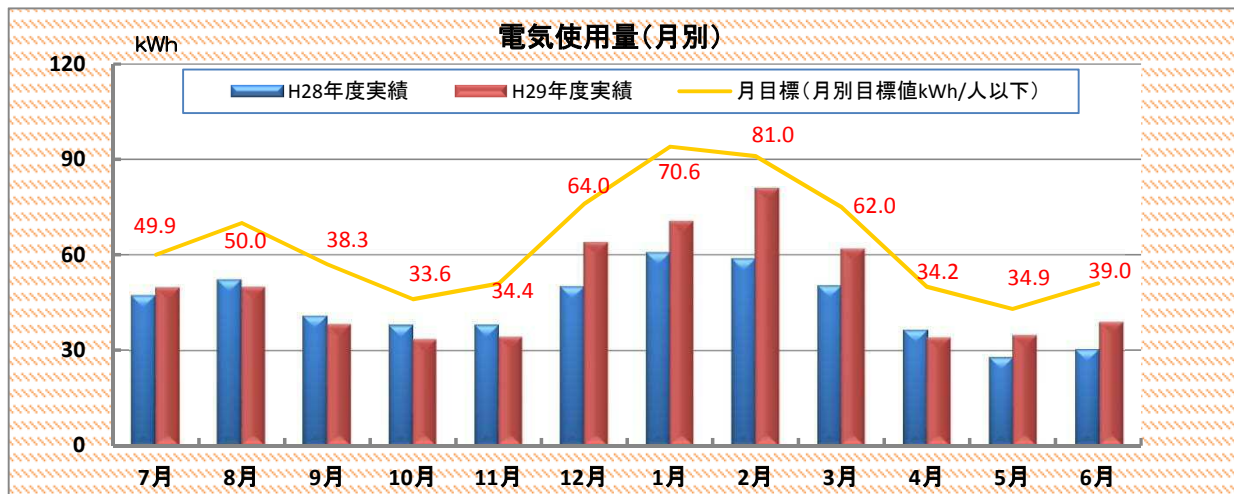


H19年実績比

-11,729kg-CO₂

24%削減

平成29年度目標 764 kWh/人以下	H29年度実績	目標達成率	評価
	591.9 kWh/人	129%	○



H28年とH29年の実績値の比較

H28年実績値
533.0
kWh/人

H29年実績値
591.9
kWh/人

+11%

環境活動項目	結果
①空調の適正化（冷房27度、暖房20度程度）を徹底する。（フィルターの定期的清掃を行う）	△
②照明の適正化、昼休み、残業時等不必要な時は消灯スイッチの適正管理を積極的に行なう。	◎
③長時間外出時にはパソコンの電源をOFFにする。夜間休日時におけるOA機器の電源OFF。	○

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

平成29年度の取組結果の評価

H29年度は冷房設定温度を下げたにもかかわらず毎月目標値を達成することができました。前年度と比較すると増加してはいましたが良い結果だったと思います。

平成30年度の取組目標

H30年度はH29年度の目標値より1%削減をすることに決定しました。より厳しい数値とはなりましたが、全社員で協力しながら目標達成できればいいと思います。

■ 平成30年度目標値 756kWh/人以下

取組内容



空調機器の温度管理



エアコンは適正温度での使用に努めています。また、定期的にエアコンのフィルターの清掃を行っています。



照明の適正化



照明のスイッチにエリアを明示し、使用していないエリアの消灯、昼休み時間の消灯に努めました。また3wayブラインドを活用して照明の管理を行っています。



長時間外出時のパソコンの電源OFF

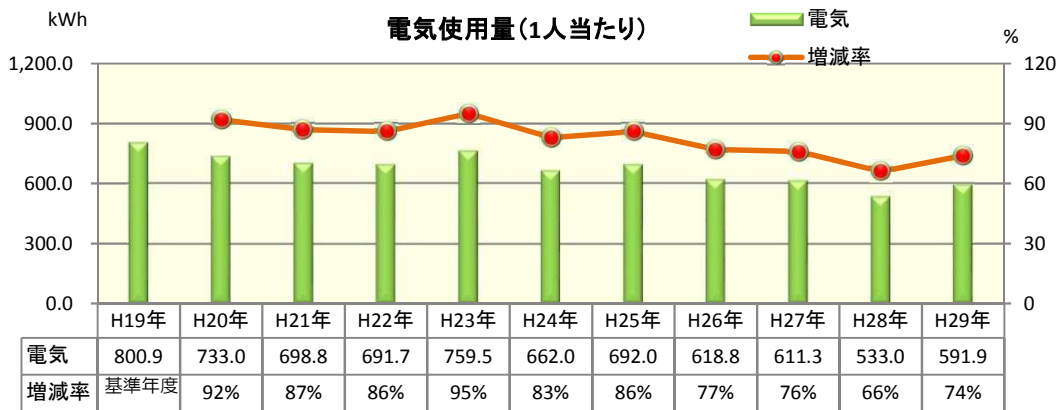


また出入り口のドアには消し忘れ防止の啓発シールを貼り、注意喚起と意識向上に努めています。



外出時のパソコンの電源OFFや休日前はプリンターの主電源をOFFにしています。

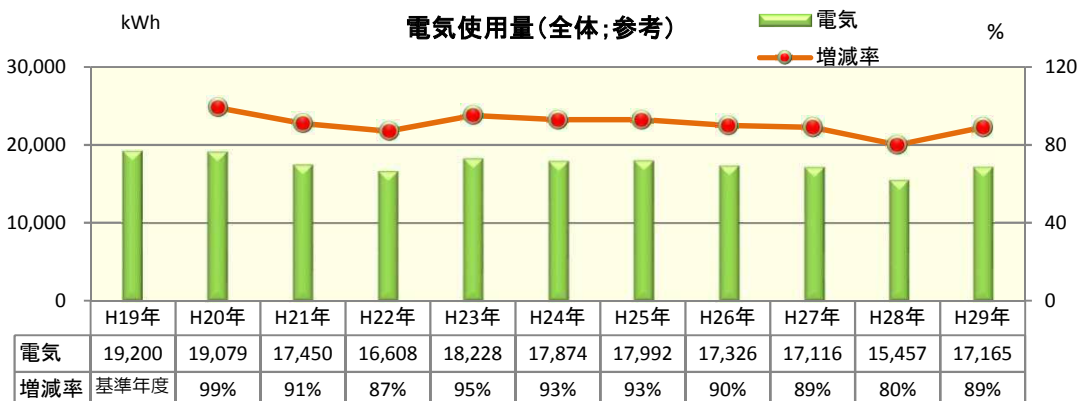
電気使用量の推移



H19年実績比

-209kWh/人

26%削減



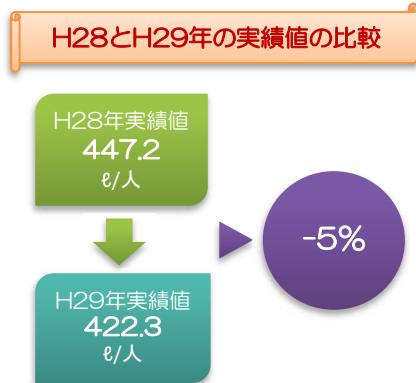
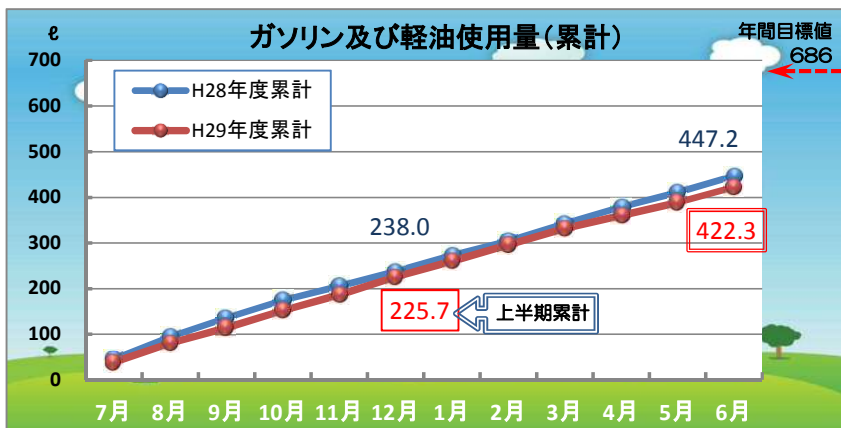
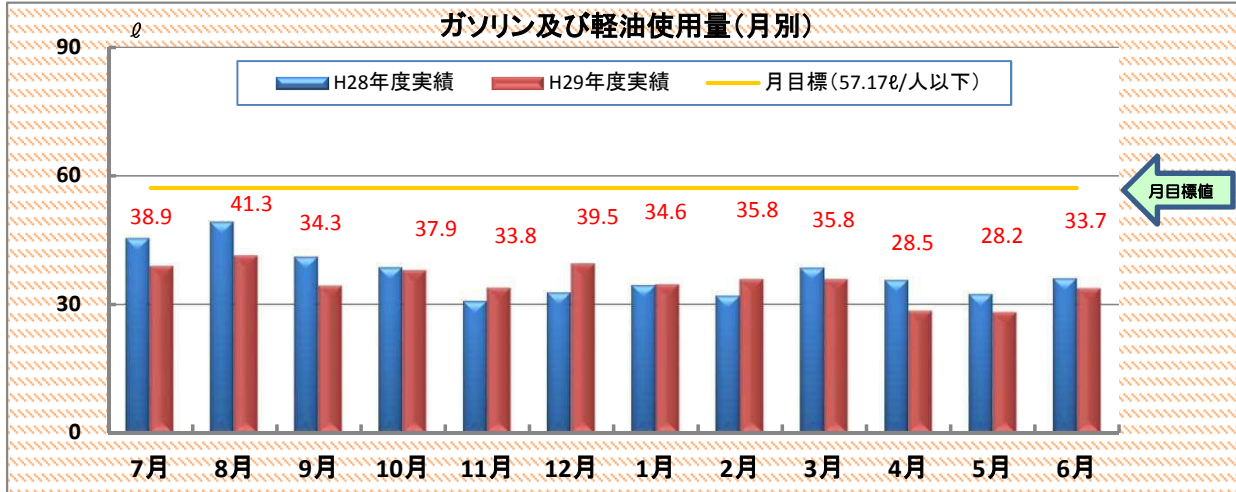
H19年実績比

-2,035kWh

11%削減

3. ガソリン及び軽油使用量の削減

削減目標



環境活動項目	結果
①燃費向上に取り組む。(タイヤの空気圧を定期的に確認し適正值に保つようにする。)	◎
②急発進、急加速や空ふかしの排除、駐車場でのエンジン停止を行う。	◎

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

平成29年度の取組結果の評価

昨年度に引き続き、燃費向上、ガソリン使用量削減について目標達成できて良かった。社員全員で協力した結果が継続して表れていると思います。

平成30年度の取組目標

今年度も継続して目標達成し、より良い数値を目指すために、細かいところにも目を向けていきたいと思っています。

■ 平成30年度目標値 679L/人以下

取組内容



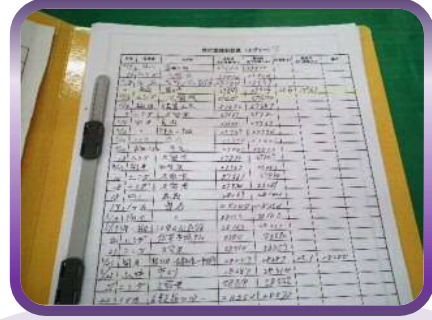
社有車の燃費向上への取組



社有車にはエコドライブを心掛けてもらえるように啓発シールを貼りました。



車両管理表



社有車毎に車両管理表に走行距離等を記録し、燃費算出表を作成しています。

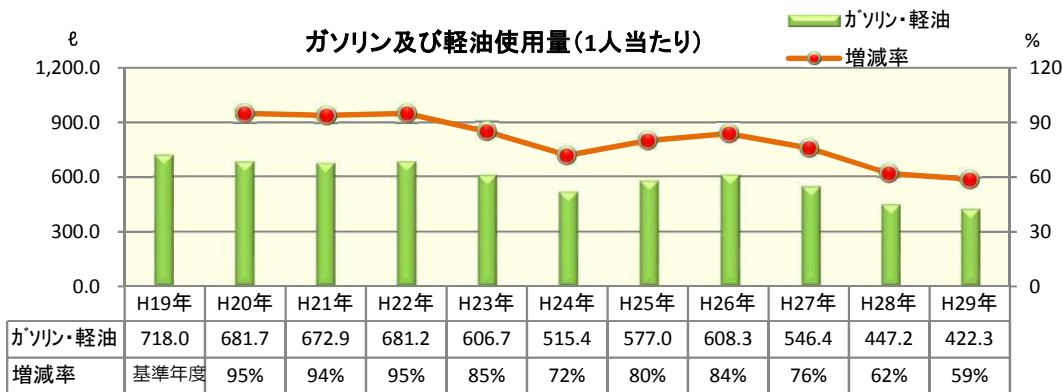


エコドライブ

- ① 「ふんわりアクセル」でやさしい発進
- ② 「車間距離」は余裕をもって安全走行
- ③ 早めにアクセルオフ「エンブレキ」を積極的に
- ④ 「無用なアイドリング」をやめて直ぐに出発
- ⑤ 「渋滞や道路交通情報」等のチェック
- ⑥ 「タイヤの空気圧」はこまめにチェック
- ⑦ 「不要な荷物」は積まずに走行



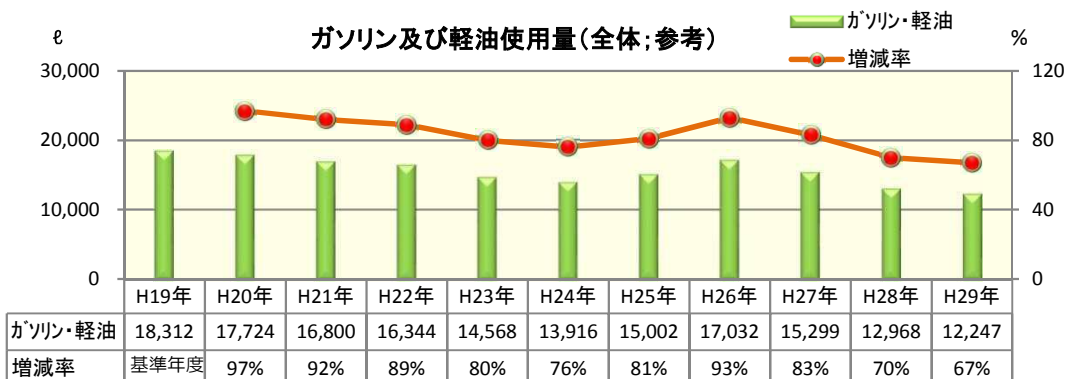
ガソリン及び軽油使用量の推移



H19年実績比

-295.7 ℓ/人

41%削減



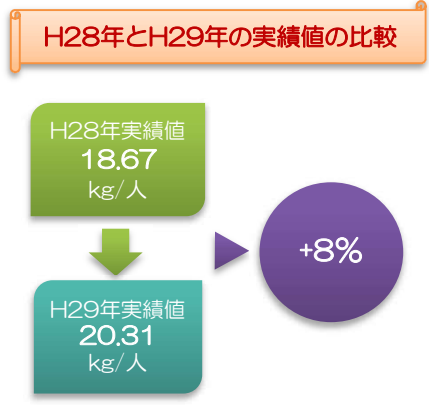
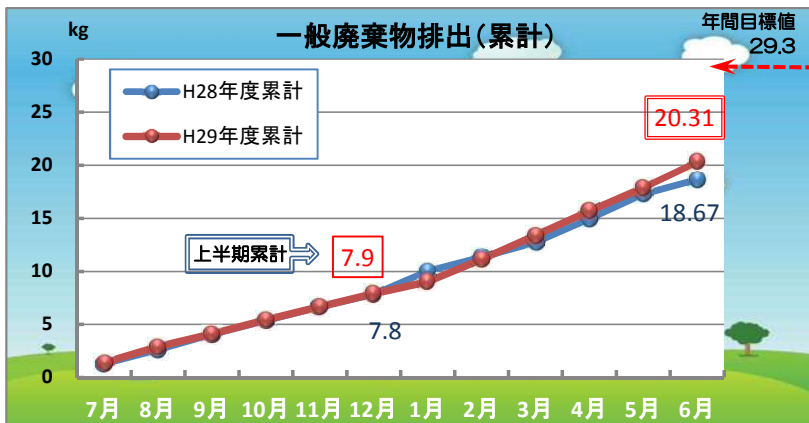
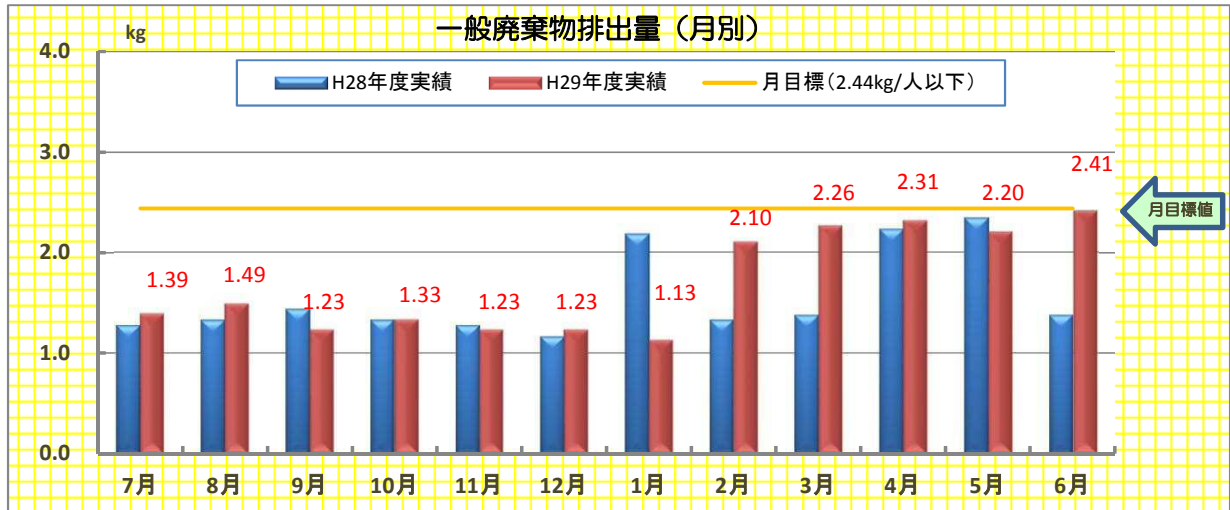
H19年実績比

-6,065 ℓ

33%削減

4. 一般廃棄物排出量の削減

削減目標



環境活動項目	結果
①会議資料や事務書類等の簡素化に取り組む。	◎
②電子メディア等の利用によるペーパーレス化に取り組む。	○
③両面印刷、両面コピーに取り組む。（設計資料やチェック用印刷物など）	○

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

平成29年度の取組結果の評価

年間目標を達成することはできたが、前年度と比較し、廃棄物排出量は増加した。平成29年度は業務量が多く、残業が増えたことが要因として考えられる。

平成30年度の取組目標

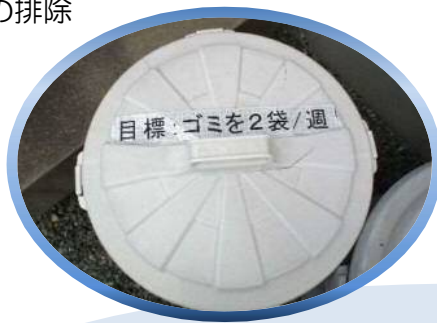
引き続き、年間目標達成に向けて取り組んでいきたい。
また、平成29年度実績よりも廃棄物排出量を少なくできるよう、努めたい。

■ 平成30年度目標値 29.1kg/人以下

取組内容



ごみ箱の排除



個人のゴミ箱を排除し、事務所のゴミ箱を1ヶ所にまとめたことで、ごみの量の大幅な削減につながりました。1回の排出量も記入しています。

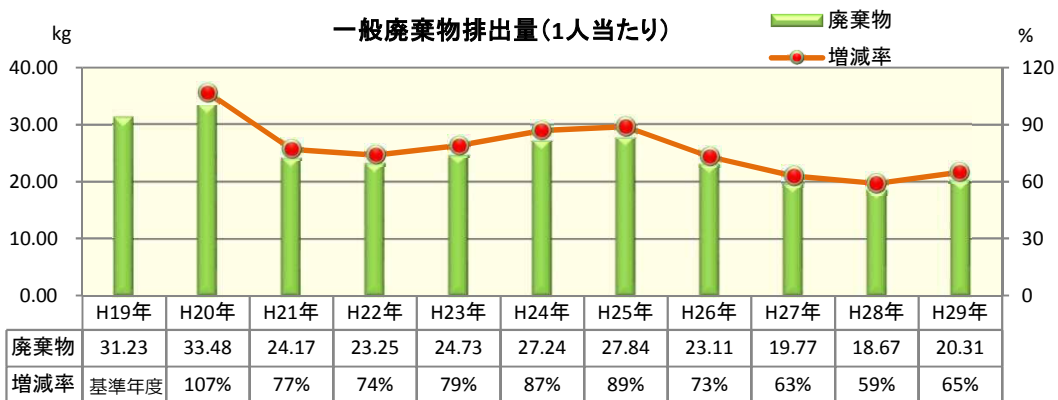


リサイクル

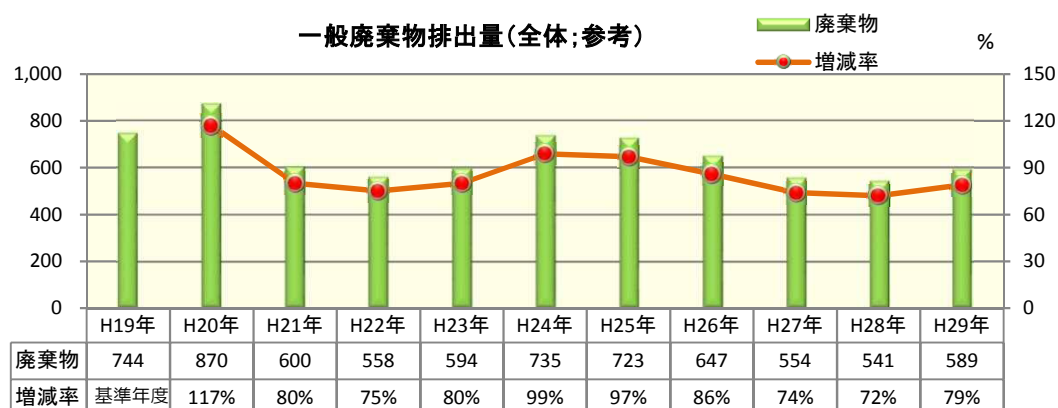


使い終わったテプラカートリッジや用紙、消耗品のダンボールは納入業者に回収していただき、リサイクルに回しています。また、ペットボトルキャップの回収も行っています。

廃棄物排出量の推移



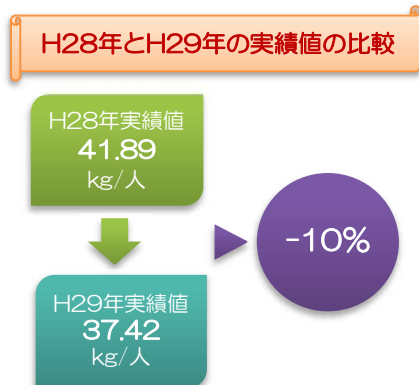
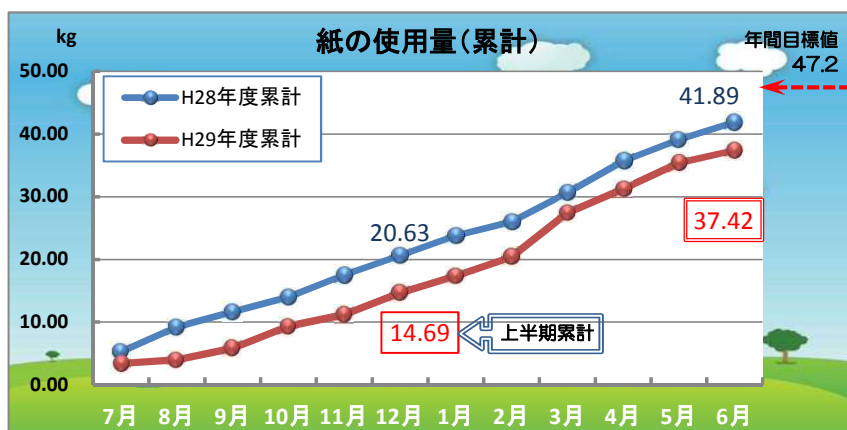
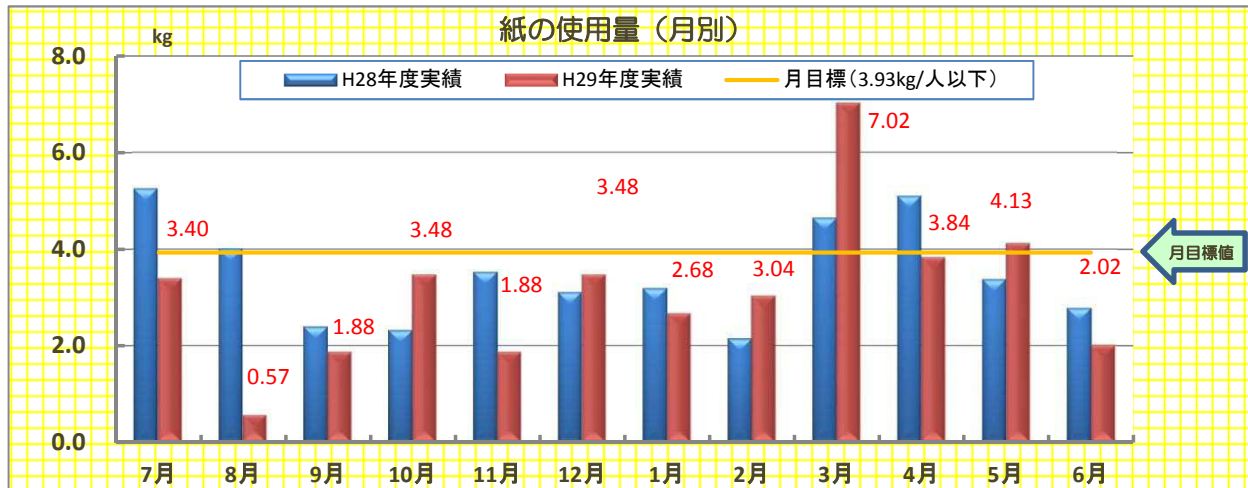
H19年実績比
-10.92kg/人
35%削減



H19年実績比
-155 kg
21%削減

5. 紙の使用量の削減

削減目標



環境活動項目	結果
①会議資料や事務書類等の簡素化に取り組む。	◎
②電子メディア等の利用によるペーパーレス化に取り組む。	○
③両面印刷、両面コピーに取り組む。（設計資料やチェック用印刷物など）	○

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

平成29年度の取組結果の評価

平成29年度は業務量が多かったにも関わらず、前年度より使用量の削減に成功した。ペーパーレス化、裏紙の使用の取り組みが定着しているためと思う。

平成30年度の取組目標

平成30年度も引き続き、使用量削減に取り組んでいきたい。

■ 平成30年度目標値 46.9kg/人以下

取組内容



裏紙の使用



使用済みの紙をサイズ別にボックスに回収し、会議資料等の社内文書は裏紙を使用しています。



両面印刷の推進



両面印刷・両面コピーに努めましょう

コピー機に啓発シールを貼り、両面印刷・両面コピーを推進しています。

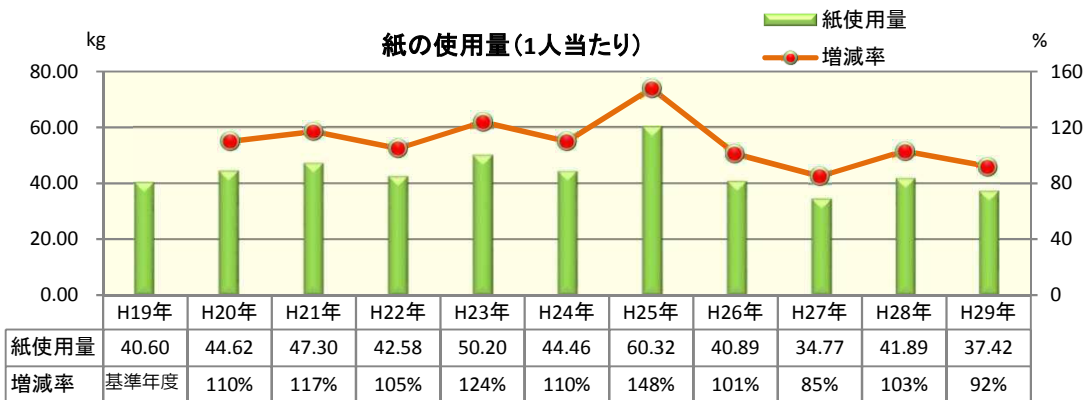


電子メディア等の利用



回覧等はメールやサイボーズ（掲示板）を利用し、ペーパーレス化に取り組んでいます。

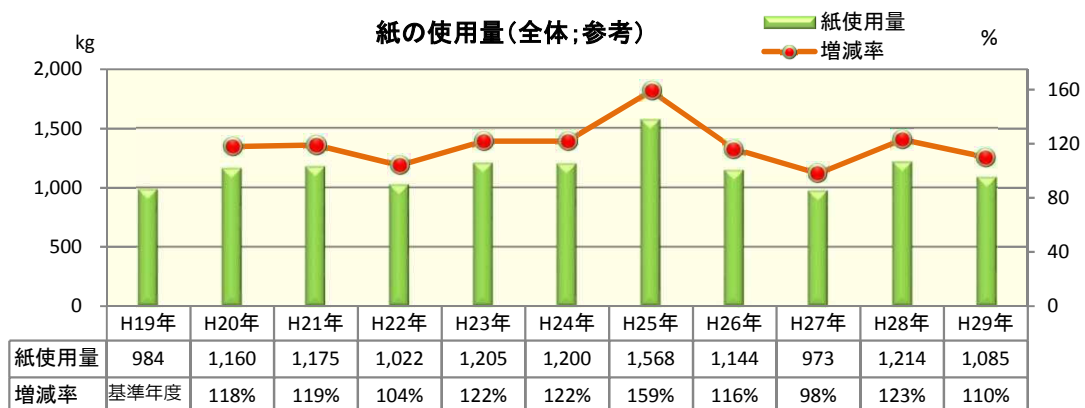
紙の使用量の推移



H19年実績比

-3.18kg/人

8%削減



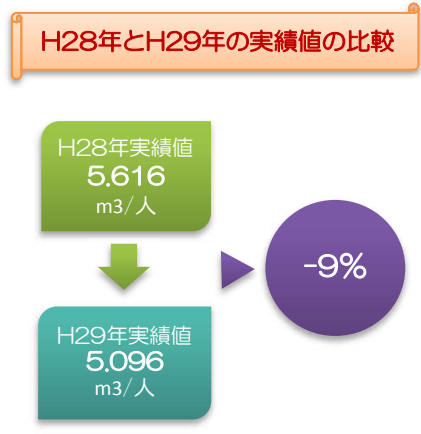
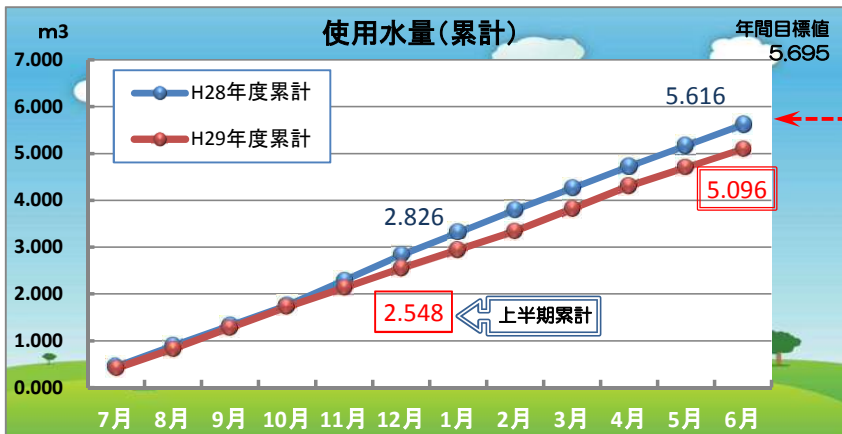
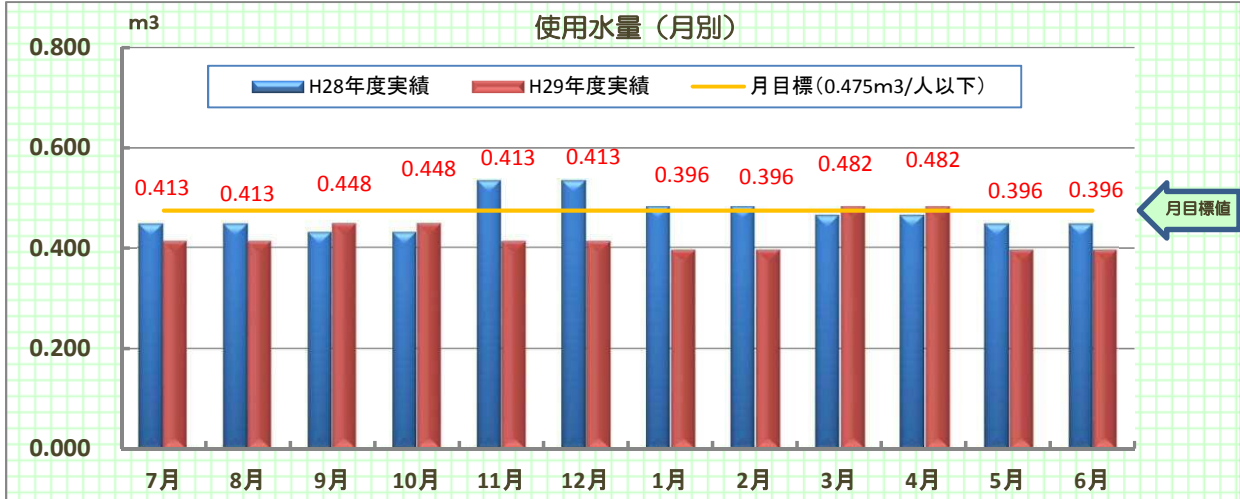
H19年実績比

+101kg

10%増加

6. 使用水量の削減

削減目標



環境活動項目	結果
①社内清掃時の節水に取り組む。	○
②洗車時の節水に取り組む。	○

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

平成29年度の取組結果の評価

今年度も継続的に目標達成できました。社員全員のコツコツと積み重ねた節水活動の結果だと思えます。

平成30年度の取組目標

今後も節水について目標達成できるように、定期的に社員への呼びかけ等を行っていきたいと思います。

■ 平成30年度目標値 5.695m³/人以下

取組内容



節水



社内の水道蛇口、トイレのタンクには使用量からみて最適な節水コマを取り付けて節水に努めています。



洗車の際には、ホースに節水ノズルを取り付け、水の出っぱなしを防いでいます。



清掃活動での雑巾の洗濯



毎朝の3S活動（整理・整頓・清掃）で使用した雑巾は洗濯機の使用を週2回と決め、まとめて洗濯することで使用する水の量をカットしています。

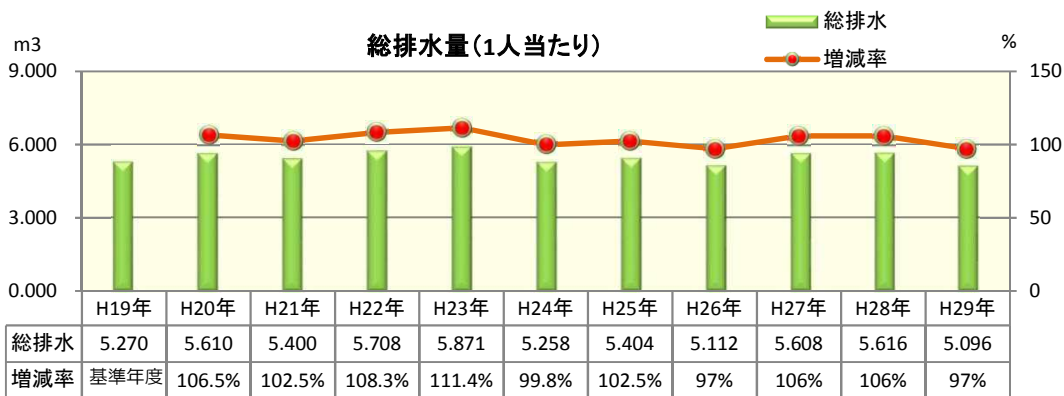


節水シールでの啓発



社内全ての蛇口に節水シールを貼り、流しっぱなしの防止に努めています。

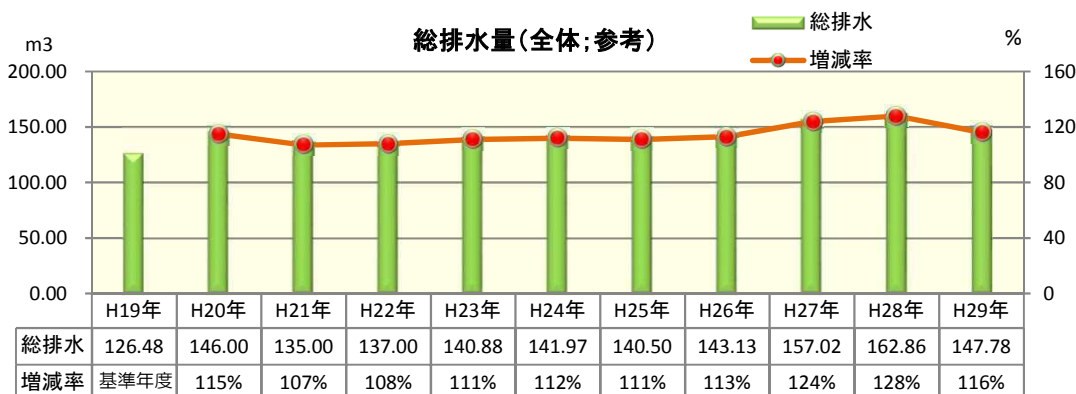
総排水量の推移



H19年実績比

-0.174m³/人

3%削減



H19年実績比

+21.3m³

16%増加



環境活動項目	結果
①環境に配慮した工法を提案する。	△

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

平成29年度の実績結果の評価

納品物件数に対して提案数が少なかった。担当者当りの業務数が多く、業務遂行を第1目標としたため環境に配慮した工法の提案への意識が薄れたものも一因と考えられる。

平成30年度の実績目標

環境に配慮した工法の提案について、担当者への意識向上を図り目標を達成したい。

■ 環境に配慮した業務推進 15件以上

取組内容

該当者に、環境に配慮した工法の提案を行ったか、毎月アンケートを回しています。



環境に配慮した設計(アンケート)

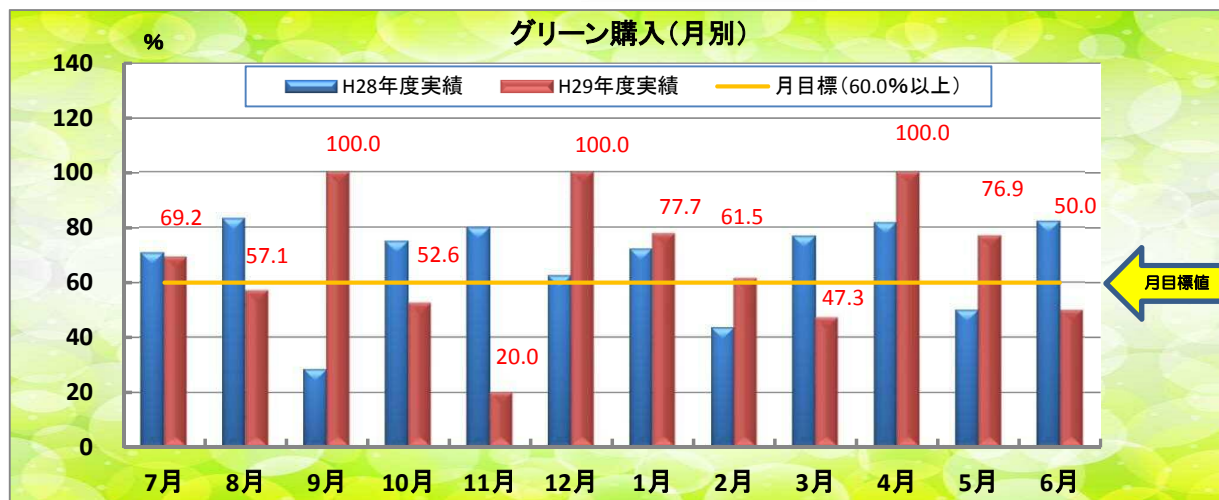
H29年度版

項目	該当	件数
建設発生土を埋戻材・盛土材として積極的に活用し、残土運搬・残土処理が少ない計画を行った。(残土処分が〇に近いほどOK)	○	1
省エネルギー型、低公害型の建設機械や車両を採用した。(大型機種採用による施工日数の削減など)	○	2
騒音、振動防止等に配慮した工法や建設機械及び設備を採用した。(無振動型機械の採用など)	○	2
県内木材の使用など地域の自然素材を利用した。(木杭基礎、木柵の採用等)	○	
人工色を抑えた土木製品の採用を行った。(化粧ブロック、テクスチャーをもたせた製品の採用等)		
せせらぎ等の親水性を考慮した設計提案を行った。(再生水利用、親水性護岸等の河川設計)		
自然環境の著しい改変を伴う開発の回避となる計画とした。(地山切土を減らすため対策工を実施する、道路線形の見直し等)		

平成29年度目標 60%以上

H29年度実績 67.7%

評価 ○



環境活動項目	結果
①環境ラベルの認定製品を優先的に購入する。	○

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

平成29年度の取組結果の評価

グリーン購入適合商品の購入目標を達成できなかった月もあったが、達成率100%の月もあった。年間を通し全社員がグリーン購入適合商品を優先的に購入することができていた。

★ 65品目中42品目

平成30年度の取組目標

今年度も環境ラベル認定商品を優先的に購入するよう推奨していく。

■ グリーン購入の推進 60%以上

取組内容



発注時、可能なものはグリーン購入推奨商品を発注しましょう。

必要な事務用品をリストアップし、【グリーン購入調達目標一覧表】として社内に掲示しています。

DM-10A4	945	
用紙(9冊) DR-21	4,100	○
工事用70gラムネット替台紙	ア-279N	1,995
ネガネット替台紙	ア-283	1,659
(A3)	A-708	1,995
(A4)	A-717	788
Form	3,000	×
A402TDR6	10,000	×
A403TDR8	8,200	×
A405TDR8	8,200	×





環境活動項目	結果
①月1回の社屋周辺美化活動を推進する。	◎
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった	

平成29年度の実績結果の評価

昨年度も目標達成できて良かった。ご協力ありがとうございました。

平成30年度の実績目標

今年度からこれまでの土曜日実施から平日実施に変更になったため、参加人数等に注目しながら取り組んでいきたい。

■ 地域貢献（ボランティア活動） 12回以上

取組内容

毎月1回、社屋周辺の美化活動を行っています。
 ごみは空き缶や、ペットボトルなど毎回1～2袋になり、回収したゴミは、市指定の袋に分別して搬出しています。
 美化活動に対し自治会長様から感謝の言葉を頂き、回覧板で広く紹介していただきました。
 社員に周辺住民とのコミュニケーションの大切さの意識が芽生えてきています。

当社は、市民と佐賀市が協働で進める

『アダプトプログラム ～さわやかマイタウンSAGA～』に参加しています。

1年間で集めたゴミの量

- ・燃えるゴミ 12袋
- ・空き缶 3袋
- ・ペットボトル 4袋





◆延べ参加人数 23名

環境活動項目	結果
①環境関連研修会へ12回/年参加する。	◎

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

平成29年度の実績結果の評価

参加を予定していた研修会が業務と重なり、出席できなかったこともあったが、佐賀環境フォーラムに於いては全員参加を目指し、5月～6月で19名が受講した。併せて年間目標も達成できた。

平成30年度の実績目標

佐賀環境フォーラム及び事務局が案内する講習会等に一人一回参加することを目標とする。

■ 環境関連の研修会に一人1回参加する

取組内容

佐賀環境フォーラムへの参加

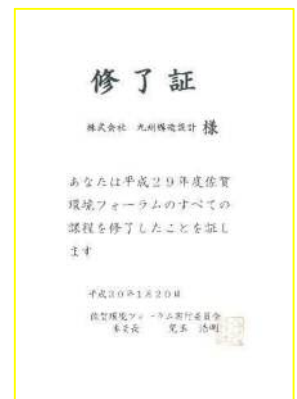
環境問題に対する正しい認識を培うことで、環境に関する理解を深め、行動に結び付けて欲しいとの思いから佐賀大学と佐賀市が連携して、お互いのノウハウを生かしながら、大学、行政、企業、市民が一同に会する「佐賀環境フォーラム」が開催されています。社員の環境教育の推進として、この講義に毎年全員が参加しています。参加後はレポートを作成、全社員に回覧することで周知を図っています。

日	実施日	講師のテーマ	出席者 (参加者)
1	5月15日 (火)	佐賀県環境推進フォーラム開催29回	幸田 昌幸
2	5月17日 (木)	SDGsの体感を通して学ぶ「ワークショップ」	宮本 田登
3	5月22日 (火)	おたけの森(おたけ)を知らないですか?	野中 行行
4	5月24日 (木)	リデュースのコース ～おたけの森の自然観察～	村上 昌徳
5	5月29日 (火)	我が国環境の現状から	高橋 由希
6	5月31日 (木)	おたけの森の森の再生の仕方	小宮 太山
7	6月7日 (木)	おたけの森の森の再生の仕方	山口 博子 野中 行行
8	6月14日 (木)	おたけの森の森の再生の仕方	藤田 七穂
9	6月21日 (木)	おたけの森の森の再生の仕方	高橋 由希
10	6月28日 (木)	おたけの森の森の再生の仕方	野中 行行
11	7月8日 (木)	インフラ整備と自然環境	川口 秀徳
12	7月12日 (木)	おたけの森の森の再生の仕方	高橋 由希

【 講義一覧 】



【 レポート 】



【 修了証 】

その他環境関連研修会への参加

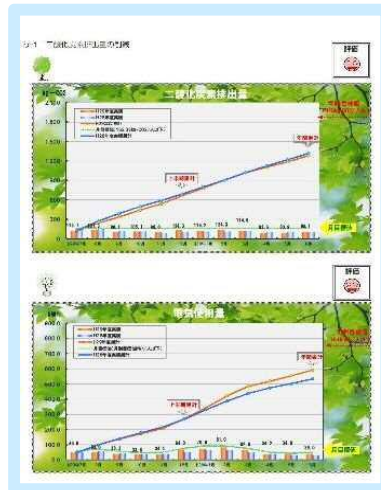
月 日	タイトル	内 容
2017年7月14日	環境にやさしい生活セミナー	「買う」「使う」「捨てる」を考えよう。
2017年11月30日	エコアクション21認証・登録事業者様向けフォローアップセミナー	エコアクション21のシステムについて・事例発表スキルアップ研修

社内での取り組み ①

【内部コミュニケーション】

「環境目標の達成状況と環境活動計画の実施状況」は毎月担当がコメント、数値入力を行い、「実施状況と評価」と「グラフ」をサイボーズ（掲示板）で社員全員に配信し、周知徹底を図っています。配信した各月の結果、及び各自の取組について社員全員にコメントを求めています。また、寄せられた提案事項、要望等に対しては事務局で検討を行っています。

実施状況と評価



グラフ

毎月のコメント入力表

【エコアクション21セミナーでの発表】



平成30年6月26日に佐賀県自治会館にて「環境経営・省エネセミナー」に当社エコアクション21推進リーダーの牟田口 剛が取組事例紹介を行いました。

【エコアクション21事務局の交代制】

全社員が事務局を経験するようにとエコアクション21事務局は3年間の交代制になっています。現在は第4期目で、各担当者間での情報共有・継承を行っています。

E.A.21推進メンバー		平成30年7月17日					
担当	第一担当年度 (H18.12~H19.4)	第二担当年度 (H19.7~H20.1)	第三担当年度(現在) (H20.4~H20.6)	第四担当年度 (H20.7~H21.1)	第五担当年度 (H21.7~H22.1)	第六担当年度 (H22.7~H23.1)	
推進リーダー	白浜	西山	森山	牟田口	徳藤	堀越	
一般の営業担当の削減 （エネルギー削減）	白浜	徳藤	山本	堀越	山口	江口	
二酸化炭素削減の取組 （風力発電機、LED照明、紙減使用）	香取	新藤	堀越	大石	松本	吉森	
資源物の削減の取組	大石	山中	野中隆	香取	栗本	久藤	
給排水の削減	牟田口	松本	堀越	藤田	堀池	山本	
推進に貢献した業務推進	—	—	梅田	白浜	山中	香取	
グリーン購入の推進	—	田中	田中	田中	田中	田中	
社員教育の取組の推進	森山	北村	江口	野中隆史	野中隆	白浜	
環境関連経費削減の取組	西山	野中	香取	香取	小森	大石	
推進管理責任者		宮副真穂		森山	牟田口	徳藤	

社内での取り組み ②

【3S活動（整理・整頓・掃除）の実践】

毎朝10分程度、全社員で床磨き、社屋の窓拭き、敷地内の草むしり等を行っています。
個人の机、事務用品の棚は整理・整頓を心掛けています。



【本棚の一元化】

3S活動（整理・整頓・清掃）の一環で、壁一面に本棚を作成し、今まで各課ごとに分散していた資料を一箇所にまとめました。また、事務用品も収納ケースに入れて1箇所にまとめ、探しやすくしています。



【環境上の緊急事態の訓練取組結果】

富士警備様より消火器の安全な使用方法を指導していただき、水消火器を使用して消火訓練を行いました。
社内全ての差動スポットと低温スポットの稼働検査結果、システムが有効に機能していることを確認しました。



環境関連法規への違反・訴訟等の有無

【当社に適用される環境関連法規】

当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘や利害関係者からの訴訟や苦情はありませんでした。引き続き環境関連法規遵守の維持に努めます。



空調機器の簡易点検

【佐賀市の『小規模事業所ステーション排出登録制度』の活用】

佐賀市では通常、事業所から排出される廃棄物は、ごみステーションへ出すことは出来ないことになっています。ただし、ごみ質が一般家庭から日常的に排出されるものと判断できるものであり、収集日1回あたりの排出量が、日常的に少量である場合に限り、自治会等の承認を受け、廃棄物をごみステーションへ出すことができます。九州構造設計はこの『小規模事業所ステーション排出登録制度』を利用し、登録をしております。

この制度を利用するには、実施要綱の規定を遵守することが必要不可欠であり、企業の社会的責任を果たす観点からも重要であります。

また、小規模事業所ステーション排出事業所は、実施要綱基準を満たすとともに、佐賀市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例第4条、第5条を遵守することが条件とされています。（条例等の変更については随時確認をして対処しています。）

ごみステーションには、周辺の方の迷惑にならないように上記実施要綱を遵守しており、違反や訴訟はありません。

代表者による見直しと評価

今年度も環境目標をほぼ達成することができ、環境負荷軽減に大きく寄与できたことはエコアクション21事務局をはじめ社員全員のエコ活動への意識の高さを感じられた。

しかし、同時に取組みによる慣れや閉塞感が散見される。もう一段高いレベルの取組内容を検討する時期にきているように思う。

景気変動により、地場の建設関連業界は厳しい経営環境ではあるが、このような時こそ、社員一丸となって他社の模範となるような今後の活動を期待します。

代表取締役社長

野中



達也